福岡県	機関名	福岡県
	部署名	商工部　新事業支援課
	電話連絡先	092-643-3449
事業名	デザイン振興事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

本県における産業デザインの振興を目的として設立された「福岡県産業デザイン協議会」の活動を支援し、県内企業のデザインを活用した付加価値の高い商品開発、販路開拓を促進。

■福岡県産業デザイン協議会（設立:平成 9 年 11 月 13 日／事務局:福岡県商工部新事業支援課）

会 長:古宮　洋二（九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員）

会 員:協議会の趣旨に賛同する企業、デザイナー、支援機関等 210 個人・団体（令和 5 年 3 月末時点）

■福岡デザインアワード

平成 11 年創設。デザイン性に優れた商品・サービスの審査表彰及び展示を実施。

また、受賞商品 PR 動画の制作やデジタルアーカイブを活用したプラットフォームを構築。

福岡デザインアワード福

・1 次審査（書類審査）:令和 4 年 9 月 13 日

・最終審査及び授賞式:令和 4 年 11 月 4 日

・会場:県庁講堂（福岡市博多区東公園 7-7）

・応募数:120 件

・表彰:15 件（大賞 1 件、金賞 4 件、銀賞 10 件）

■商品開発・販路拡大支援

・県内企業によるデザインを活用した付加価値の高い商品やサービス開発を促進するため、
商品開発の課題を抱える企業と学識経験者やデザイナーを交えた議論を行う、デザイン開発ワークショップを開催。

・受賞企業等について、イベントプラットフォームにおける動画視聴形式のセミナーと
WEB ミーティング機能を使用した商談会などによる販路開拓支援を実施。

＜参考 URL＞ 福岡県産業デザイン協議会 https://www.fida.jp

福岡デザインアワード https://award.fida.jp

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成9年度	29 000 千円

福岡県	機関名	福岡県工業技術センター　インテリア研究所
	部署名	技術開発課
	電話連絡先	0944-86-3259
事業名	製品企画力高度化支援事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

■目的
やる気を持った県内家具等の製造業１社１社に対して製品企画から製品化まで一貫して支援し、各企業のブランドの基幹となる製品の創出や企業の製品企画力向上を通じて、戦略的な製品開発ができる活力ある企業の育成を図る。

■概要
本事業に参加意欲のある企業を公募により募集し審査会において選定する。（年間３社程度）
企業に製品企画に関する助言を行うために有識者によるアドバイス体制を整え、企画から製品化までの支援を行う。
企業と外部有識者、インテリア研究所の3者により、具体的な製品企画を行い、その企画を具現化するデザイナーを公募する。
選定されたデザイナーのデザイン案を基に、設計・試作・評価を行い製品化へとつなげる。

＜参考 URL＞
https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/furniture-brand.html

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 30 年度	2 644 千円

福岡県	機関名	北九州市
	部署名	地域経済振興部　商業・サービス産業政策課
	電話連絡先	093-582-2050
事業名	サービス産業振興事業（産業デザイン振興事業）	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

■デザインシンポジウムの開催
　市民、市内企業等がデザインに関する知識を深め、課題解決に至るデザイン思考や新しいビジネスの創出のきっかけとなることを目指し、西日本工業大学デザイン学部と連携し、デザインの分野で活躍される方を講師に招いてシンポジウムを開催している。

【令和4年度開催内容】
・日時　　令和5年1月25日（水）18:00～19:30
・場所　　西日本工業大学　小倉キャンパス
・テーマ　　アニメ監督と考える心を掴むものづくり
・講師　　吉浦　康裕（アニメーション監督）
・参加人数　68名（会場受講27名、オンライン受講41名）

■福岡県産業デザイン協議会（事務局:福岡県）との連携
　デザイン開発ワークショップの開催等に係る負担金の支出、市内事業者への、「福岡デザインアワード」への応募呼びかけ

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成15年	437千円

福岡県	機関名	福岡市
	部署名	経済観光文化局国際経済・コンテンツ部コンテンツ振興課
	電話連絡先	092-711-4329
事業名	クリエイティブ関連産業の振興	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

○福岡市では、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザインなどのクリエイティブ関連産業の振興に取り組んでいる。

○福岡県産業デザイン協議会（事務局:福岡県）との連携
1 福岡デザインアワード
2 受賞商品の販路開拓の支援
3 デザインを活用した商品開発の推進

○交流創出事業
福岡市内の事業者に広く呼びかけて連携し、イベント等を通じて、上記5分野のクリエイティブ関連産業の振興を図っている。

＜参考 URL＞「福岡県産業デザイン協議会」
https://www.fida.jp/

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成8年度	98 313 千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	健康福祉部　障害福祉課　就労支援室
	電話連絡先	0952-25-7389
事業名	授産事業パワーアップ支援事業「デザイン等魅力向上事業」	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

【事業目的】
　障害者が地域社会で自立した生活を営めるよう、県内の障害福祉サービス事業所のうち、工賃収入の安定確保及び向上に取り組んでいる就労継続支援 B 型事業所及び別途定める要件を満たしている就労継続支援A型事業所（以下、「事業所等」という。）に対して、専門家を招聘・派遣し、商品、パッケージ等の開発・改良支援等（以下、「商品開発等への支援」という。）を行う。

【実施時期】
　令和4年6月8日～令和5年3月31日まで

【実施内容】
　①専門家の選定
　　市場のニーズを捉えた商品等ブランドの構築、商品開発、販路開拓等に関する監修についての経験と実績を有する専門家（クリエイター等）を選定する。
　②商品開発支援等
　　選定した専門家を事業所等へ派遣し、以下の支援を行う。
　　ア　商品開発支援等
　　　事業所等が行う商品開発等について、事業所等の要望を聞き、事業所等が持つ技術や強み等を活かしながら、新規商品開発、既存商品のブラッシュアップ、パッケージ改良等の支援を行う。
　　イ　動画制作
　　　当事業において開発した商品等及び開発に至るプロセスやストーリーを紹介する PR 動画を制作する。
　③成果発表会
　　ア　障害福祉施設の販売会（佐賀さいこうフェス「笑顔 de さいこうマルシェ」）において、成果（商品等）の発表（障害福祉施設の販売会までに商品等が完成している場合に限る。）及び商品開発等が途中の場合は中間報告を行う。
　　イ　来場者へのアンケート調査を行い、集計及び分析して事業所へ報告する。
　　ウ　商品を魅力的に見せるようレイアウト指導を行う。

【参加事業所数】
　5事業所

＜参考 URL＞
佐賀県障害福祉課サイト
https://www.youtube.com/channel/UCgkEBj76AdqtqRLQaAOpvSg

【開発商品例】
　【開発前】　　【完成】

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
令和5年度も継続して実施	令和3年度	5 500 千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	産業労働部ものづくり産業課
	電話連絡先	0952-25-7421
事業名	ものづくり企業イノベーション促進事業費補助金	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1　事業目的

県内において生産や研究開発等の事業又は業務を行っているものづくり事業者が、新型コロナウイルス感染症により社会情勢が大きく変わろうとする中、「ものづくり×クリエイティブ」を基本的なコンセプトとした「夢」「志」「新しい試み」へ挑戦することを応援し、これまでのビジネスモデルから一歩踏み出した新たな取組を促進する。

2　事業概要

ものづくり企業が温めていた「夢」「志」の実現やものづくり企業の資源（製品や技術等）の高収益化、社会的ニーズへの対応を図るために実施する「ものづくり×クリエイティブ」をコンセプトとした新たな事業活動に要する経費の一部を補助する。

3　対象事業

○ ものづくり事業者の認知度向上を目的として新たに実施するブランディングやプロモーション
○ ものづくり事業者の保有技術の認知度・訴求力向上や、自社製品の販売促進を目的として新たに実施するブランディングやプロモーション
○ オンライン型直接販売に対応するための環境整備（BtoB タイプの直接販売体制や BtoC タイプの EC マーケット等）
○ ものづくり事業者が保有する技術や製品に新たな価値を付すための技術開発や商品開発
○ その他ものづくり事業者において新たに取り組む事業革新やビジネスモデルとして知事が認めた事業

4　補助対象経費

報償費、費用弁償、備品購入費、委託料、使用料及び賃借料等

5　補助率

3 分の 2 以内（所定の条件を満たすとき、4 分の 3 以内）

6　補助上限額

200 万円

7　令和4年度実績

11 件

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和2年度	16 000 千円

佐賀県	機関名	佐賀県工業技術センター
	部署名	生産技術部　分室　諸富デザインセンター
	電話連絡先	0952-47-5601
事業名	技術ワークショップ事業「デザイン活用研究会」	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

【事業目的】
県内企業の商品開発力向上、企業経営や新商品・サービス開発において重要となる、デザイン活用の考え方や活用手法の修得
【事業概要】
・企業活動におけるデザイン活用に関する講習会及び実習等
・デザイン思考を活用した新商品開発に関する講習会及び実習等
・企業におけるブランド構築に関する講習会及び実習等
【活動内容】
○工業技術センター　デザイン担当者が講師、ファシリテーターとして開催
・現在の商品開発の考え方と手法について‥‥令和４年８月３日
・新商品開発の方法論及びマーケティング等の紹介と解説‥‥令和４年12月６日
○外部講師を招いてのセミナー形式での開催
　小企業や地方の企業の商品開発とプロモーションの考え方と実践手法について‥‥令和５年３月７日
＜参考URL＞ https://www.saga-itc.jp/goriyoannai/_1028/kenkyuukai.html

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	744千円

佐賀県	機関名	佐賀県工業技術センター
	部署名	生産技術部　分室　諸富デザインセンター
	電話連絡先	0952-47-5601
事業名	出前講座「デザイン思考を活用した新商品開発入門」	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

【事業目的】
県内の企業技術者等の技術力向上や人材育成を積極的に支援することを目的として、企業等の現場を職員が訪問し技術研修を実施している。デザイン分野の講座として「デザイン思考を活用した新商品開発入門」を実施している。
【活動概要】
既存商品の延長ではなく、これまでにない新しい価値や真に求められる商品を創造するための方法論である「デザイン思考」を活用した商品開発のプロセスや手法を解説する。
【活動内容】
受講を希望する企業側と事前の打ち合わせを行い、解説内容や事例、ミニワークショップの想定課題等の内容の調整を行い、講座終了後のフォローも行う。
・印刷分野企業／12 名・・・・令和 4 年 7 月 21 日
・製薬分野企業／10 名・・・・令和 4 年 11 月 18 日
・食品加工分野企業／6 名・・・・令和 4 年 12 月 9 日
・金属加工分野企業／13 名・・・・令和 5 年2月 17 日
＜参考 URL＞ https://www saga-itc jp/goriyoannai/ 1028/demae kouza html

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	—

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター
	部署名	デザイン部
	電話連絡先	0955-43-2185
事業名	アドバイザー委託事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

○目的
平成 26 年度から 3 か年にわたって実施した有田焼 400 年事業により、有田焼産地再生に向けた方向性を見出すことができたが、その流れをさらに発展させ、事業化支援事業（窯業技術センターが地元陶磁器業界企業、クリエーター、クライアント等を結ぶハブ的機能を果たしながら、企画から流通までの一貫したモノづくりプロセスを支援するもの）のより効果的な事業展開を図るため、陶磁器ビジネスの事業化に関し豊かなノウハウを有する人材をアドバイザーとして招聘し、事業化支援事業の業務を委託する。
○期間　　令和4年 4 月 1 日～令和5年 3 月 31 日
○事業内容
①事業化支援外部アドバイザー関係
デザイン、製造、流通に至るまでの商品開発の各プロセスにおけるアドバイス
窯元、商社の関係者を結ぶコーディネイトに関すること
産地外部のデザイナー、企業等の紹介、仲介
②事業化支援セミナー関係
伊万里・有田焼産地内での商品開発にすぐに運用できるようなテーマの設定、テーマに適した講師の紹介、仲介
③研究課題関係
窯業技術センターで実施する経常研究・支援事業「事業化支援関連」に関する助言、指導に関すること
④職員指導関係
上記を通じた、職員への事業化支援ノウハウに対する助言、指導に関すること

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 29 年度	5 227 千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター
	部署名	デザイン部
	電話連絡先	0955-43-2185
事業名	有田焼絵付け体験アプリケーション「いろえ　iroe」の運用	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

○目的
佐賀県陶磁器産地の特色である、職人による伝統的な絵付けや文様、美しい絵具の色を未来へ発展・継承していくため、産地の中で使用されている絵具のデータをデータベース化する研究を行い、それをさらにアプリとして開発し、アプリの中で誰でも絵付けやデザインができるようにした。

○アプリケーションの概要
・カラーチャート
　実際に産地の中で使用されている下絵具（呉須）と上絵具の色の一覧を閲覧できる。
・絵付けする・デザインする
　カラーチャートの色を使用し、2 種類の筆ツールを使って自由に絵付けやデザインができる。
　また、伝統文様のスタンプを使って絵付けができ、完成した作品は 3D でリアルに表示され回転させ確認することができる。

今後、産地全体の体制づくりを進め、伝統産地の技術と人材を活かし、個人や企業がアプリを通して質の高いオリジナルデザイン商品を自由に発注できるという先進的な産地づくりの取り組みを進めていく。

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和 3 年度	1319 千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	農林水産部　農業経営課
	電話連絡先	0952-25-7570
事業名	さが農村イノベーション推進事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

■目的

県内外に広く知られるような農村ビジネス※の成功事例を、令和4年度までに5件以上創出する。

※農村ビジネスとは、農産加工品の開発・製造や農産物直売所、農業体験・観光農園、農家レストラン、農家民宿などの農村にある資源・魅力を活かしたビジネスで、生産者の所得向上と地域の活性化を目指す取組。

■事業概要

農村ビジネスの成功事例を創出するため、さが農村イノベーション推進事業による支援を「さがアグリヒーローズ（SAH）」と称し、農家に対してデザインの視点を取り入れた商品開発やブランディング等をサポート。

具体的には、プロポーザルによってプロデューサー（総括クリエイター）を決定し、総括クリエイターは公募により重点支援者となる農家を5組選定。令和4年度までに農村ビジネスで成功事例となるような事業計画（4カ年プラン）を立案。重点支援者の目標の実現に向けて、総括クリエイターは綿密なヒアリングのもと、デザイナーや料理研究家などの専門クリエイターを全国各地から選定し、対象者に応じた支援を実施する。

■活動内容

(1)5組それぞれにプロジェクトチームを組み、打合せを実施。ブランドイメージを鮮明にするロゴマークや、パッケージ、HP、農家の生産物を使った加工品等を制作。

また、事業全体の広報ツールとして、インスタ、Facebook、HPを開設。

(2)情報発信

①2022年度グッドデザイン・ベスト100受賞

『農業分野におけるデザイン経営の導入』としてさがアグリヒーローズの取組が、「明日を切り拓く力をもったデザイン」「未来を示唆するデザイン」として高い評価を得て受賞。

②県外広報イベント「さがアグリヒーローズ in 六本松蔦屋書店」を開催

日時　令和4年10月15日（土）～10月24日（月）　POPUPイベント

10月22日（土）　特別トークセッション（約30人）

場所　六本松蔦屋書店

③県内広報イベント「さがアグリヒーローズ in さが農村マルシェ」

日時　令和4年11月20日（日）

場所　どんどんどんの森ふれあい広場（佐賀市天神）

内容　さがアグリヒーローズ活動パネル展示

③県内広報イベント」「さがアグリヒーローズ in Farmers　Table　2023」

場所　ふくどみマイランド公園（佐賀県白石町）

内容　さがアグリヒーローズ活動パネル展示、プロデューサーによる無料相談会

④成果報告会

4年間の取組成果の報告を行った。

日時　令和5年2月8日（水）

場所　ガーデンテラス佐賀ホテル＆リゾート（佐賀市新栄東）

内容　総括クリエイターによる取組成果報告、重点支援農家、クリエイターによるクロストーク、成果品の展示

参加者　約70名

■その他

＜参考URL＞

https://saga-agriheroes.com/

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
令和5年度も継続して実施	令和元年度	17 956 千円

長崎県	機関名	長崎県
	部署名	長崎県窯業技術センター　戦略・デザイン科
	電話連絡先	0956-85-3140
事業名	技術支援業務	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

■デザインセミナーの開催
県内事業者の商品⇔企業⇔地域 における今後のブランドデザインの方向性と、それを自社の顧客等に発信するための効果的な方法等についてデザインセミナーを開催
第１回「キーワードは“遊び”」（ハイブリッド開催）
次世代のデザインの在り方などについて考える
開催日:令和４年 12 月２日（金）
参加人数:59 人
第2回「モノをつくるというコト」（ハイブリッド開催）
時代ごとのデザインの役割とデザインにおけるブランディングの重要性について考える
開催日:令和５年１月 19 日（木）
参加人数:46 人
第3回「サスティナブルなブランディング」（ハイブリッド・ワークショップ形式で開催）
従来のマーケティングを起点に、生産や企画開発とは違い持続可能性に焦点を合わせた今後のブランドの在り方を検討し、新たなマーケットを生み出すことを考える
開催日:令和５年３月 30 日（木）
参加人数:32 人

■県内陶磁器産業の新商品開発支援
波佐見焼の最新トレンドを反映した新商品の開発と販路拡大を目的に、東京ドームで開催されている「テーブルウェア・フェスティバル」に出展するための商品開発におけるデザイン及び技術を支援
対象:波佐見陶磁器工業協同組合の窯元のうち参加を希望する企業
支援企業数:20 社

■長崎県産業デザインネットワーク（NID-net）
デザイナーをはじめ、デザイン会社やデザインに関心のある企業、支援機関、団体、金融機関等のネットワークを構築し、交流会やセミナーなど会員相互の交流や連携を通して、企業間連携、デザインの啓発、情報の共有、デザインの高付加価値化、市場開拓・販売促進などデザイン活動を推進する。
会員数:217 者

■デザイナーズバンク
製造業や食品加工業など様々な県内企業等の自社商品のデザイン力向上のため、デザインの相談を希望する県内企業等からの相談内容に応じて、バンクに登録しているデザイナーやデザイン関連企業を紹介する。
登録者数:50 人

＜参考 URL＞
https://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/nid_net/index.php

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 29 年度	-

長崎県	機関名	長崎県
	部署名	産業労働部　企業振興課
	電話連絡先	095-895-2637
事業名	売れる！デザイン強化事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

県内で企画・開発・製造されている商品の中から優れたデザインを選定・表彰し、受賞商品の PR、販路拡大支援を実施した。

■長崎デザインアワード2022

募集対象:県内で企画・開発・製造された製品のうち、反復生産可能なもので令和3年4月1日から令和4年8月31日までに商品化され、現在も販売されているもの（令和3年4月1日以前に商品化されたものでも、上記期間内にデザインを改良し商品化されたものも含む）。

募集期間:令和4年8月1日（月）～8月31日（水）

応募総数:94点

選定委員:6名（デザイン関連4名、バイヤー関連2名）

受賞（表彰）:大賞（1点）、金賞（2点）、銀賞（4点）、特別賞（2点）

その他:入選（14点）

表 彰 式:令和4年11月1日（火）

場　　所:長崎県庁

主　　催:長崎県、長崎県産業デザインネットワーク

＜参考 URL＞

https://www pref nagasaki jp/yogyo/nid net/index php

表彰式

受賞商品

大規模商談会でのブース出展

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
令和 5 年度より「売れる！デザイン競争力強化事業」として内容を一部見直しした上で、「長崎デザインアワード」を継続。	令和5年度	7 558 千円

大分県	機関名	大分県
	部署名	商工観光労働部　経営創造・金融課
	電話連絡先	097-506-3232
事業名	クリエイティブ活用推進事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

大分県では、優れた技術やノウハウを持つ県内の企業と、最先端の技術や、豊かな発想・感性を持ち、企業に対してその能力、技術を発揮できるクリエイティブ人材が交流し、コラボレーション（協働）することで、競争力の高い商品・サービスの創出や、新規マーケットの開拓等に繋げることを目的とした、クリエイティブ活用事業に取り組んでいる。

■クリエイティブ活用個別相談事業

県内中小企業や個人事業主等を対象にクリエイティブ活用のセミナーを開催。
クリエイティブの活用についての講演や県内クリエイターによる事例紹介、
希望者には個別相談を実施。

○内容（各回共通）
・クリエイティブ活用の講演
　講師:Yamaide Art Office 株式会社代表取締役　山出淳也氏
・県内クリエイターによる事例紹介
・個別相談会（希望者のみ）

○日程及び会場
　佐伯市（9/14）、豊後大野市（9/15）、大分市（9/15）
　中津市（11/28）、日田市（11/29）、別府市（11/29）
　オンライン（2/21）

○参加者　合計 221名

■県内クリエイター高度人材等育成事業

県内の企業とクリエイティブ人材が交流し、協働することで、競争力の高い商品・サービスの創出や新規マーケットの開拓等に繋げることを目的に連続講座を実施。

○内容
・おおいたクリエイティブ実践カレッジ、2コースで構成
「Standard30（基礎 31名×20回）」、「Leader5（5名×24回）」
・県内外の講師による講義
　講師:メイン講師
　　株式会社野村総合研究所　坂口剛　氏
　　株式会社 POPS 代表　田中淳一　氏
　　その他、第一線で活躍中のクリエイターなどの講師陣が参加
・県内企業に対する提案（現状把握・課題設定・課題解決）

○コミュニティ活動
・受講生と過去の受講生の有志によるコミュニティ
・勉強会やワークショップ等を行うことで、メンバー間の交流と繋がりを創出

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和３年度	22 901千円

大分県	機関名	大分県産業科学技術センター
	部署名	製品開発支援担当
	電話連絡先	097-596-7101
事業名	商品化プロデュース支援事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

1　事業目的
県内中小企業の製品開発の各段階において的確で、きめ細かな支援や、市場競争力のある商品を創出し、経営資源としての「デザイン」を定着させ、売れる製品を生み出すことのできる企業を育成することを目的としています。

2　実施主体　大分県

3　事業内容
フェーズA　商品企画ステップアップ
対象:支援企業2社程度
期間:約7カ月（企画会議　月2回程度開催）
内容:
　商品開発の第1段階である商品企画について「ユーザーの心を捉える」企画の立案・作成を支援します。

フェーズB　商品化サポート事業
対象:支援企業2社程度
期間:約7カ月
内容:
　具体的な商品化を目指しそのデザイン開発（図面・モデル・プロトタイプ作成など）を支援します。

＜参考URL＞
https://www.oita-ri.jp/kakutantou/seihinkaihatu/

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和2年	1796千円

大分県	機関名	大分市
	部署名	商工労働観光部商工労政課
	電話連絡先	097-585-6011
事業名	クリエイティブ産業育成事業「おおいたデザイン・エイド」	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

大分市では、「クリエイティブ産業の裾野の拡大」「市内クリエイターの育成」「クリエイターの発想・技術を活用した企業の販路拡大」を図ることを目的に、クリエイティブ産業育成事業「おおいたデザイン・エイド」を実施している。

<事業の 2 本柱>

■経営とブランディング講座

企業の経営診断・改善、ブランド構築、商品開発から流通・販売、情報発信に至るまでの一貫したプロデュースを担える人材を育成するため、(株)中川政七商店による全 6 回の「経営とブランディング講座」を開催。最終回は、受講生によるビジネスプランの発表会を実施。

〈開催日〉

2022 年 7 月 6 日(水)「経営とブランディング講座」の事前セミナー(講師:中川 政七氏、参加人数 70 名)
2022 年 8 月 20 日(土)第 1 回「経営戦略を立てる」(講師:林 薫 氏)
2022 年 9 月 17 日(土)第 2 回「ブランドをつくる(前半)」(講師:林 薫 氏)
2022 年 10 月 22 日(土)第 3 回「ブランドをつくる(後半)」(講師:林 薫 氏)
2022 年 11 月 19 日(土)第 4 回「商品をつくる」(講師:林 薫 氏)
2022 年 12 月 17 日(土)第 5 回「コミュニケーションを設計する」(講師:林 薫 氏)
2023 年 1 月 28 日(土)第 6 回「成果発表会」(講師:中川 政七 氏、林 薫 氏)

<講座受講者数>17 名

事業ロゴマーク

■デザインコンテスト

既存商品のデザインのリニューアルや新商品のデザインなどの課題を市内企業より公募し、応募のあった課題に対する作品を大分県内に在住または通勤・通学するクリエイターより募集し、優秀作品を表彰するコンテストを実施。

〈デザイン募集〉10 商品(うち 1 社辞退)
〈募集作品〉77 点(うち 7 点表彰)

【2022 年度コンテスト 最優秀賞作品】

課題:会社のロゴマーク

＜参考 URL＞
https://2023.oita-designaid.jp/

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 30 年度	15 000 千円

鹿児島県	機関名	鹿児島県工業技術センター
	部署名	企画支援部
	電話連絡先	0995-43-5111
事業名	環境・生活・デザイン技術開発研究事業「薩摩焼割付文様を利用した工芸品の開発」	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

薩摩焼割付文様は，主に白薩摩の上絵に用いられる金彩を用いた幾何学の文様である。古くは江戸時代より現代まで描かれており，現存する鹿児島の工芸品において，最も古い文様の１つであると言える。しかし，白薩摩焼の窯元の減少と，窯元が新規文様を創出する機会の減少により，描かれる機会が減ってきている。そこで，白薩摩の割付文様について調査・研究し，文様をデータ化・図形化の手法を研究する。

さらに近年開発された「かごんまの色」などを複合利用することで，新規文様を創出し，薩摩焼の新商品創出に向けた取り組みを行う。また，薩摩焼割付文様と当センター所有のレーザ加工機の切断，彫刻，ケガキ彫刻を利用して，薩摩焼だけでなく，他の工芸品へ文様を展開した工芸品の開発を行う。

【令和4年度実施内容】

① 白薩摩焼の割付文様の調査・収集（文献・窯元調査）
黎明館発行の「華麗なる薩摩焼」展示会図録，当センター所有の白薩摩焼原図より，割付文様の調査を行い，出現率の高い上位 10 柄の選出を行った。

② 割付文様のデータ化・図案化，新規図柄の創出など図柄の利用化研究
出現率の高い上位 10 柄の文様について，ベクター系ソフトを用いてデータ化を行った。

③ 「かごんまの色®」を活用した割付文様展開例の研究
②でデータ化した図案と上記資料や鹿児島大学環境色彩学研究会による「かごんまの色®」から配色例を作成し「薩摩焼割付文様集（仮）」の編集を行った。 なお，編集にあたっては，白薩摩焼窯元などへのモニタリングを行い，よりよいものに更新を行う。
また，今後予定している工芸品の商品化を目指す研究会「川辺クラフト研究会」を結成し，試作品のブラッシュアップを行った。

＜参考 URL＞
https://www kagoshima-it go jp/kit2021/

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定 令和6年度で事業終了	令和4年度	－

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319
事業名	クリエイティブ産業創出支援事業	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

市内デザイナー等のスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、かごしまデザインアワードや人材育成セミナー等を実施し、デザイン業をはじめとするクリエイティブ産業の振興を図る。

■「かごしまデザインアワード 2022」の開催

市内企業からのデザイン課題に対する作品を募集し、優秀な作品に褒賞を授与する。

○テーマ:「鹿児島をリデザインする。」

○課題:募集期間:令和 4 年 7 月 1 日～9 月 30 日

・有村屋の定番商品「さつま揚げ」のパッケージデザイン（株式会社有村屋）

・新商品「黒豚角煮の和風カレー（仮）」のパッケージデザイン（株式会社オービジョン）

・鹿児島鍼灸専門学校のロゴマークデザイン（学校法人久木田学園鹿児島鍼灸専門学校）

・大島紬の生地を使った「インテリア・生活小物」のプロダクトデザイン（上村絹織物）

・「黒毛和牛みそ」のリニューアル販売に向けたラベルデザイン（キンコー醤油株式会社）

・店舗の暖簾とイベント出店時の店舗デザイン（ぢゃんぼ餅平田屋）

○応募総数:476 作品

○最終審査及び表彰式:令和 4 年 12 月 22 日、センテラス天文館にて実施

■クリエイティブ分野の人材育成セミナー

これからの鹿児島のクリエイターや企業にとって必要な、Web 関連及びデザインの啓発などに関するセミナーを実施。

○2023 年は AI 元年？！クリエイターのための AI セミナー

・日時:令和 5 年 3 月 20 日　・場所:ソーホーかごしま会議室

・講師:松尾　久人氏（株式会社 AIBOD 代表取締役社長）参加者:17 名

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 25 年度	10 083 千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319
事業名	クリエイティブ人材誘致事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

クリエイティブ産業の振興及び集積促進を図るため、UIJ ターンイベントを開催する等、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致する取組みを行う。

■UIJ ターントークイベントの開催

東京都内の会場とオンラインの同時開催にて、本市の移住関連施策等の説明、鹿児島在住クリエイター等によるトークセッションや作品等の紹介、交流会などを開催し、移住に関心のある方々との交流を図る。

【DAY1】○日時:令和 4 年 9 月 11 日(日)14 時 30 分～16 時 30 分
○場所:堤方 4306(東京都大田区)
○参加者:会場 5 名、オンライン 6 名

【DAY2】○日時:令和 4 年 9 月 12 日(月)19 時～21 時
○場所:高円寺三角地帯(東京都杉並区)
○参加者:会場 5 名、オンライン 9 名

■お試し移住プログラムの開催

鹿児島市への移住を検討されているクリエイターの方を対象に、クリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」でのリモートワークや市内企業での副業体験、市内で活動するクリエイターとの交流会などを通じて、鹿児島市の生活環境やビジネス環境を体感していただくプログラム。

○日時:令和 5 年 1 月 20 日(金)～1 月 24 日(火) ○参加者:8 名

■クリエイティブ人材誘致事業補助金

首都圏等に集中しているクリエイティブ人材が鹿児島市へ移住された場合に、
移住に要する経費に対して補助を行う。

○補助対象:事業所改修費用及び設備投資費用
○応募資格:クリエイター(情報通信、映像・コンテンツ制作、デザイン、芸術)、
プロデューサー又はディレクター(クリエイターとともにビジネスを行う者)
○補助額:1 件あたり 10 万円を限度とする
○補助率:補助対象経費の 2 分の 1
○選定件数:8 件程度

<参考 URL>
https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creative-life2020.html

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 28 年度	6 046 千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319
事業名	鹿児島•渋谷クリエイティブシンポジオン開催事業	

事業概要（事業内容•期日•場所•テーマ•実施団体•講師•参加人数など）

本市のクリエイティブ産業振興に係る取組等を全国へ情報発信するため、渋谷区と鹿児島市を会場とするクリエイティブ産業の振興をテーマとしたイベントを開催する。

■渋谷会場

日時:令和 4 年 10 月 29 日(土)
会場:渋谷ヒカリエ 8F　8/コート
内容:①トークセッション（参加者:52 人）
•session-1「クリエイティブシティのつくり方」
（登壇者）　長谷部 健 渋谷区長
下鶴 隆央 鹿児島市長
（ファシリテーター）　九法 崇雄 氏(KESIKI Inc パートナー/編集者)
•session-2「ローカル発クリエイティブ•ブランドの育て方」
（登壇者）　服部 滋樹 氏(graf 代表 クリエイティブディレクター•デザイナー)
保 直延 氏(城山観光株式会社常務取締役 総支配人)
東野 華南子 氏(株式会社 ReBuilding Center JAPAN 取締役)
（ファシリテーター）　九法 崇雄 氏(KESIKI Inc パートナー/編集者)
②デザイン展示
③移住相談ブースの開設（参加者:2 組）

■鹿児島会場

日時:令和 5 年 2 月 4 日(土)
会場:mark MEIZAN
内容:①トークセッション（来場参加者:40 人　オンライン視聴者数:275 人）
•pre-session「クリエイティブシティを目指して」
（登壇者）　下鶴 隆央 鹿児島市長
•session「これからのサステナブルな仕組みづくりを語ろう」
（登壇者）　相馬 夕輝 氏(D&DEPARTMENT ディレクター)
黒木 靖之 氏(株式会社ボタニカルファクトリー 代表取締役)
古川 理沙 氏(そらのまち保育園 代表取締役)
（ファシリテーター）　九法 崇雄 氏(KESIKI Inc パートナー/編集者)
②デザイン展示
③トークセッションゲストとの交流会（参加者:16 人）

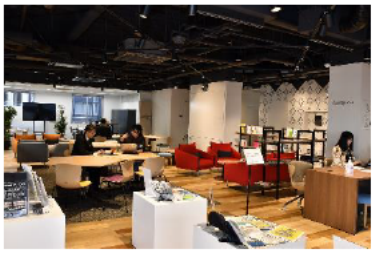
＜参考 URL＞
https://www city kagoshima lg jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/kagoshima-shibuya-creative-symposion2022 kagoshima html

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
令和4年度で事業終了	令和元年度	6 556 千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319
事業名	クリエイティブ産業創出拠点施設(mark MEIZAN)企画運営事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

クリエイティブ産業の振興を図り、地域経済の活性化に資するため、クリエイティブ人材等の育成、多様な事業者等との交流等を行う拠点施設「mark MEIZAN」の企画運営を行う。



mark MEIZAN

■施設の基本的機能

① クリエイティブ人材育成
- クリエイティブ関連セミナー等の開催
- ビジネスマッチングイベントの開催、ビジネスマッチング専用 WEB サイトの運営、
- スタートアップ支援プログラムの企画・運営　等

② コミュニティ形成
- 交流スペースの管理運営
- コミュニティ形成のためのイベント開催　等

③ 情報発信
- 公式 WEB サイト運営、施設案内パンフレット等による広報
- クリエイターの作品展示等の実施
- 鹿児島市の地域ブランド、クリエイティブ事業者の技術や取組等に関する首都圏等への情報発信　等

■入居室等　①入居室 24 室　②シェアオフィス 6 スペース

■交流スペース利用登録者数　3 171 名(平成 31 年 2 月～令和 5 年 3 月末)

■セミナー・ワークショップ・ビジネスマッチングイベント

・セミナー 12 回　・マッチングイベント 3 回　・スタートアップ支援プログラム 18 回　・コミュニティ形成イベント 8 回

＜参考 URL＞https://www city kagoshima lg jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/mark-meizan html

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 30 年度	100 704 千円

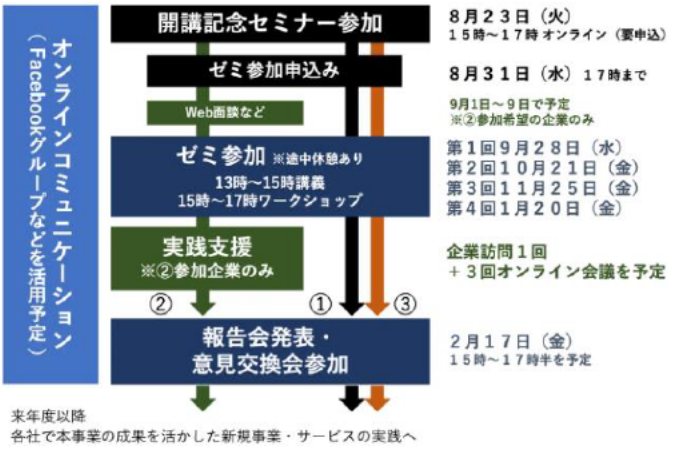
九州経済産業局	機関名	九州経済産業局
	部署名	産業部　流通・サービス産業課　サービス・コンテンツ産業室
	電話連絡先	092-482-5511
事業名	令和4年度 デザイン経営を活用したイノベーション創出促進事業「九州デザイン経営ゼミ2022」	

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

九州経済産業局では、企業の新たなビジネスモデル構築や事業の転換、企業価値の向上を目的とし「デザイン経営」の導入をサポートする取組を実施。2022 年度は前年度に実施した「デザイン経営ゼミ」をさらに進化させ、「変化への対応」をテーマに、「イノベーションに資するデザイン」の実践を通じて体系的に学ぶコミュニティ型の「九州デザイン経営ゼミ 2022」を開講。

●事業の概要
開講記念セミナーを開催後、業種や参加目的に応じて下記 3 コースのゼミを実施。
① free 参加コース
対象:デザイン経営に興味のある国内の企業
ゼミでの講義やワークショップの参加を通して、デザイン経営やイノベーション創出のプロセスについて学習。
② 企業実践コース
対象:九州域内の中小企業
ゼミへの参加に加え、講師からの個別支援を受ける事が可能。個別支援では、サービスデザインに主眼を置き、変化に対応したイノベーションの創出を支援。経営者など個別支援で取り組んだ内容を社内で実践できる方およびデザイン人材を含む2人以上での参加が前提。
③ 支援者連携コース
対象:デザイナー、金融機関、販売、メディア、行政機関など
新事業、新サービスの創出や販路の開拓などを支援することが可能な企業等を対象にしたコース。ゼミでの講義やワークショップに参加することで、デザイン経営の知見を深めることができる他、参加者との交流を通して事業連携を行う事も可能。

●事業プロセス（記載の日付はすべて 2022 年度）



●事業の概要と最終報告会の内容は特設 HP に掲載中

https://www kyushu meti go jp/seisaku/ryutsu/design_kyushu_2022/index html

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
令和 5 年度地域におけるデザイン経営の普及と自走化のための エコシステム構築に向けた広報事業	令和 5 年度	4 542 千円